

平成29年度 地域の寺子屋推進フォーラム実施報告



日時 平成29年12月23日（土）13:00～17:00

場所 中原区役所 5F 会議室

主催 川崎市教育委員会

共催 川崎市地域教育推進協議会、学校・家庭・地域の連携協力推進会議

参加者数 約420人

第1部 親子体験教室

プログラム	講師
ちびっこ空手教室	専修大学体育会 空手部
君も明日からマジシャン	専修大学 マジックサークル
工作教室	田園調布学園大学 「子どもがつくる町ミニたまゆり」実行委員会 川崎おやし連
アテレコ体験	話芸写
お茶づくり体験	一般社団法人 みなとむすぶ地域活性コミュニティ協会
科学実験教室	神奈川 CST 協会

【ちびっこ空手教室】

- ・お兄さん、お姉さんの先生が優しくて良かった。
- ・とても楽しかったそうです。貴重な体験をありがとうございました（保護者）
- ・空手をやりたいと言っていたが、習い事があり、なかなか通わせることができませんでした。今回、参加できることが分かり、とても楽しみにしていました。2人の子どもに1人の先生がついて、細かいところまで教えてくれて良かったです。学生さんだったので、子どもも親しみやすかったと思います（保護者）
- ・またあったらやりたい。
- ・参加して良かったです。
- ・楽しかった。下段ばらいが良かった。
- ・楽しかった。もっと型を教えてもらいたかった。
- ・良い経験になりました。また参加したいです（保護者）
- ・お手本の、キビキビとした型を見ていて、気持ちよかったです（保護者）
- ・お兄さん、お姉さんが爽やかで、子どもも楽しそうでした（保護者）
- ・お兄さん、お姉さんがとても丁寧に教えてくださり、とても勉強になりました（保護者）
- ・丁寧に教えていただいていたがたかったです。もう少し時間がほしかったです（保護者）



【君も明日からマジシャン】

- ・簡単にできて楽しかった。
- ・手品を自分でできて嬉しかった。
- ・マジックを知ることができてうれしかった。
- ・とても楽しかったです。帰ってからママに見せたいです。
- ・マジシャンがていねいに教えてくれて、とても楽しかった。
- ・マジシャンにふれあえて、良い体験ができました（保護者）
- ・すごく面白かったです。
- ・また来たいです。
- ・マジックが不思議でした。
- ・最初のデモンストレーションが素晴らしくて感動！！もっと教えてほしかった（保護者）
- ・子どものペースに寄り添っていただいて、体験できました（保護者）
- ・最初に見せてもらった時は、とても驚きびっくりしました。でも、意味（やり方）を覚えてもらおうと、なるほどと思いました。トランプのマジックはいろいろ見たことがあるけど、今日、見せてもらったマジックは、今まで見た中で一番すごいなと思いました。友達にやってみます。
- ・少しだけ年上のお兄さんに、何かを覚えてもらう機会などなかなかないので、良かったです（保護者）
- ・マジックを覚えて良かったです。
- ・トランプの切り方を覚えてほしい。見せて頂いたマジックはとても楽しかったです（保護者）



【工作教室】

- ・楽しかった。特に竹とんぼが楽しかった。
- ・全部楽しかった。
- ・くるくるリングが楽しかった。
- ・自分で作る工作が楽しかった。
- ・どれも楽しかったです。
- ・楽しい遊びの作り方を教えていただき、ありがとうございました（保護者）



【アテレコ体験】

- ・楽しかった。初めて体験して1番に話せて嬉しかった。
- ・面白かった。映像に声を合わせるのが難しかった。
- ・難しかったけど、楽しかった。
- ・実際のアテレコを模擬体験できて、貴重な経験でした（保護者）
- ・すごく早くてびっくりした。声優の人はすごいなー、と思いました。



- ・他所では体験する機会がないので、貴重な体験となりました（保護者）
- ・また参加したいです。
- ・めずらしくて、なかなかできない体験ができて良かったと思います。とても楽しかったです。
- ・マイクの場所が変わるので、それも意識しながらセリフを言うのが非常に大変だと思いました。ポーっと番組を見ていたら、申し訳なく思います（保護者）



【お茶づくり体験】

- ・いろいろなお茶が飲めて美味しかった。
- ・楽しかったです。味がいろいろで面白かったです。
- ・こういうのをまたやってほしい。
- ・苦かったけど、美味しかった。
- ・とても良い経験が親子でできました（保護者）
- ・お茶が美味しかったです。もむのと、乾燥するのが楽しかった。お茶が、ダシが出ていておいしかった。
- ・お茶づくりは、とっても大変でした。1時間以上もんだり、乾燥させたりしたので、ちょっと飽きてきました。でも、できあがったとき、とっても美味しかったです。またこんな機会があったら参加したいです。
- ・初めての体験でした。こんなに大変とは…。これからは大事にゆっくり飲もうと思いました。とても美味しかったです（保護者）
- ・親子で楽しめて良かったです。お茶の作り方はとても手間暇がかかっていて、温度だったり、いろいろと奥が深いなと思いました（保護者）
- ・お茶がいつ日本に伝わってきたのかや、ウーロン茶や紅茶なども同じ葉っぱからできていることを初めて知りました。手もみは、最初は葉がぬれていて手がベタベタしたけど、1時間で乾燥して砂みたいにならなくなった。味は一番最初にお湯を入れて飲んだら濃かったけど、2杯目からちょうどいい味になりました。



【科学実験教室】

- ・一番楽しかったのはびっくりばこです。
- ・すごいなと思いました。
- ・いろいろなしかけがあった。楽しかった。
- ・ふしぎなおえかき、が楽しかった。
- ・サソリの標本が飛び出すのが、強くて楽しかった。
- ・とても楽しく参加させていただきました（保護者）
- ・色々な実験ができて楽しかった。他の学校に行ってしまった先生に会えて嬉しかった。
- ・盛りだくさんの内容で、充実していて良かったです。作ったものを持って帰れるのが、より体験が心に残っていいと思いました。また、家庭にあるものでもできる内容で、またやってみよう、という気になれるのも良いです。もっと時間がほしいと思いました（保護者）
- ・身近にあるもので、いろいろな実験ができて勉強になりました。これをきっかけに理科が少しでも好きになってくれると嬉しいです（保護者）
- ・サソリの標本がびっくりして、楽しかったです。
- ・楽しかった。
- ・石鹼であんなにうまく絵が描けるなんてびっくりしました。



第2部 大・座談会「イマドキのテラコヤ」

参加者：約130名

平成28年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞セレモニー

遊びと学びの寺子屋（中野島小学校）

東小倉小「地域の寺子屋事業」



大・座談会

コーディネーター 川崎市教育委員 中村香

教育委員会からの寺子屋事業の概要説明、中野島小、大戸小の2つの寺子屋の実践報告に続き、15個のグループに分かれて、市長や教育長も交えて意見交換を行いました。各グループでは、大学生、寺子屋事業に関心のある方、すでに寺子屋の活動に関わっている方、企業や団体の関係者など異なる立場の人同士で意見交換をしました。



【大学生や大学関係者の意見】

- ・今日は空手を子ども達に教えた。難しいけど面白かった。
- ・子ども達に教えるのは難しいが、子ども達の吸収力を感じた。
- ・1対1で教えていると、子ども達の個性が出る。
- ・今日は工作を子ども達に教えたが、子どもがとても積極的だった。普段の子どもを対象とした活動では親がすぐ隣にいるが、今日は、親は遠くから見ていたので、子どもが主体的に参加していたのかも。
- ・大学にボランティアセンターがあるので、そういうところに働きかけてみては。土日なら時間があって寺子屋のお手伝いができる学生もいるかもしれない。
- ・ボランティアサークルに入っているが、勉強のサポートと言われるとハードルが高い。我々のような学生が教えていいのだろうか躊躇してしまう。
- ・子ども達の勉強のサポートをしたいという学生もいると思う。
- ・今回のように、地域の人や色々な立場の人と話す機会がもっとほしい。
- ・いつもは学生と小学生など2世代の交流になりがち。寺子屋は多世代の活動になるので面白そう。
- ・学生が地域社会に対して持っている意欲を、形にできるような仕組みがほしい。
- ・学生が関われることを明確にする必要がある。
- ・現在、大学院生。寺子屋先生をやっている。子ども達は兄弟のように接してくる。腕相撲を挑まれることもあり、学生ならではののかな、と思う。子ども達には多様な人の関わりが必要だと思う。



- ・寺子屋先生をやっている。友人にも声をかけたが、平日は授業があり無理と言われる。
- ・本当に学生に参加してほしいのであれば、大学との連携が必要。口コミでは無理。
- ・講義のコマ入れをしているので、調整をすれば平日の活動への参加も可能だと思う。
- ・大学に入り、アルバイト以外に何かやりたいと思っていたところ、親が寺子屋のチラシを見つけてきた。家の近所の寺子屋に参加している。
- ・学生への直接の周知にはSNSが有効。
- ・教員を目指しているので、実際に子ども達と関わることは、とても勉強になり、ありがたい。
- ・大学の知り合いに声をかけて、学生のボランティアを増やすよう、力になりたい。
- ・個々の寺子屋の具体的な話や、市長、教育長から直接お話を聞くことが出来て、大変勉強になった。
- ・田園調布学園大学で「ミニたまゆり」をやっており同じような事業かと思っていたが、比較的シニア層の方の関わりが多いことが分かった。大学生も今日のフォーラムに参加して興味を持ったと思う。若い力が入るとよいと思う。
- ・大学生を無料の労働力だと思いと続かない。楽しい、プラスになると思うことがあれば参加する。大学生も認められる体験が必要。
- ・4年生は就職活動が終わると週1コマぐらいしか授業に出ない。1、2年生もシラバスで自分が履修する時間帯でなければ、寺子屋への参加も可能だと思う。
- ・寺子屋は、勉強と遊びを同時に経験できてよいと思った。
- ・今まで「寺子屋」というのは歴史の授業以外で聞いたことがなかった。
- ・教えることは得意ではないが、話を聞いて、協力できることがあると思った。
- ・自分が育った地方では、子ども達の周りに色々な大人がいることが普通だったし、日常的にたくさんの関わりがあった。川崎でもそういう状況づくりが進んでいくことは、とてもいいと思う。
- ・寺子屋のイメージが変わった。真剣な取組があったり、いるだけでも支援になったり、すごくいいと思う。

【これから寺子屋に関わってみたい人や興味があって参加した人の意見】

- ・週1回の学習のサポートで、子ども達にどう役立つのか疑問。
- ・教育的な支援が必要な子どもへのフォローも必要だと思う。
- ・学校が地域に対して求めることを出してくれると関わりやすい。
- ・寺子屋を立ち上げたいと考えており、色々な情報がほしくて参加した。
- ・来春から寺子屋を立ち上げるが、何から手をつけたらよいのかまだ不安。
- ・子どもに寄り添うというのは大切なこと。寺子屋は大切な取組だと思う。
- ・概要説明にあった「達成感」「自己肯定感」の醸成という言葉が印象的だった。
- ・専門学校で教えていて九九の分からない学生に出会ったことが、寺子屋を始めようとおもったきっかけ。2、3年のうちに基礎を身につけさせてあげたい。
- ・寺子屋での学習支援と学校の授業との関係がまだ疑問。学校教育に地域が介入していいのか？責任が問われる。
- ・外国人との交流をやっている。子どもと外国人をつなげたい。
- ・成績を上げることが目的ではなくて、意欲を引き出すということが大事なのが分かった。
- ・これから寺子屋にどう関わっていくか、考えるきっかけになった。
- ・今後もこの地域で暮らしていくと決めたら、地域の人とのコミュニケーションが大事になってくる。



- ・寺子屋はマジョリティに対しての支援だが、それゆえに障がいのある子どもや家庭に問題を抱えている子どもは参加しにくくなっているのではないかと感じる。
- ・こういう活動をやれる学校が限られていると感じる。
- ・本当に学校は開かれているのかな？



【寺子屋先生や寺子屋コーディネーターの意見】

- ・大人も楽しんでいる。
- ・寺子屋はまちづくりの意味もあると思う。
- ・子ども達が変わっていくことは、大人にとっても嬉しい。
- ・近隣の大学生にもイベントに関わってもらっており、恵まれている。
- ・楽しい活動を通して、興味や関心、勉強の意欲へつなげていければと思っている。
- ・開講から1年が経ち、子ども達は落ち着きが出てきた。まだまだ課題はあるが、学習が遅れがちな子に光をあててあげられるといいな、と思っている。
- ・寺子屋では、子ども達が地域の大人や学年が下の子と接することで、社会との関わり方を学ぶことが出来ると思う。言葉の使い方などを学んでもらえたらと思う。
- ・子ども達の良さを引き出したい。
- ・学生さんに参加してほしい。
- ・教員採用試験で、寺子屋先生の経験がある人に加点する仕組みがあれば、増えるのでは？
- ・学生さんは、平日は授業で忙しいので、土曜ならば手伝ってもらえるかも。
- ・放課後の学習教室は参加希望者が多くて複数教室で実施している。週1回ではなくてもっとやってあげたい。
- ・寺子屋先生ではなくて、苗字で呼んでもらっている。子ども達に顔を覚えてもらって挨拶されると嬉しい。
- ・毎日学習支援ができるようになるといい。
- ・学習支援が週1回だと、分かるというところまでいくのは難しい。
- ・学ぶことに対するきっかけづくりになればいいと思う。
- ・寺子屋先生の確保については、人づてのネットワークや、一本釣りでスカウト、その他、地域での回覧やマンションなどへのチラシ掲示をしている。
- ・学習支援で使うプリントのネタがなくて困っている。
- ・各寺子屋で実施している事業の事例集があるといい。
- ・各寺子屋で自作している教材を共有出来たら嬉しい。自分が作った教材も提供できる。
- ・学習教室の中でお楽しみの時間を作っており、そのネタ探しが大変。他の寺子屋の事例を知りたい。
- ・子ども達が元気すぎて、落ち着いて勉強できない。
- ・学習教室の司会などを子どもに任せている。毎回、立候補する子がいてやってもらっているが、みなを注意することで自分も気づくことがあるようだ。
- ・勉強したい子もいるので、しっかりと叱っている。
- ・勉強を教えるなんて！と難しく考えずに、もっと軽い気持ちで寺子屋先生として参加してほしい。
- ・世代ごとに、寺子屋先生になるには壁があるようだ（シニア…勉強を教えることは難しそう、保護者世代…仕事をしていて時間がない、大学生…授業があり時間がない）。中には、金銭面という人も？
- ・自分も、子どもと一緒に「難しいね～」などと言いながら考えることもある。
- ・「分からない」と言える人が寺子屋先生には向いている。
- ・勉強を「教える」わけではない。勉強を通して子どもが地域の人と関わるのが大事。



- ・子どもは、花丸をつけてもらうなど、小さなことで嬉しい気持ちになる。学力アップをと意気込まなくてもいいと思う。
- ・漢字の楽しさを味わってもらえるようなプログラムを、今後やってみたいと思っている。
- ・寺子屋の時間中は戦争。子ども達に引っ張られっぱなし。終わるとどっと疲れが出る。元気をもらうというよりも、吸い取られる。でも、家に帰ってホッとした時に、今日も良かったなと思う。
- ・子どもに遊んでもらっている気持ち。低学年は騒いだり、大変だが、楽しそうに帰ってくれば嬉しい。お楽しみ学習も、自分が面白いと思うものを色々やっている。
- ・寺子屋は、勉強になじむ機会を与える場所であり、子どもの居場所づくりだと思っている。「ここが間違っている」ではなく、「ここは少しおかしくない？」と一緒に考えて、最後には満点の花丸をつけてあげる。そこが学校と違うところではないかと思っている。
- ・一緒に考えよう、が大事。
- ・他の寺子屋のやっていることや、苦勞、工夫など我々と変わらないなと感じた。もっと情報交換したい。
- ・市民アカデミーでの経験を活かして寺子屋に関わっている。
- ・子ども達に自信を持たせる、ほめる、笑顔で帰らせることを大事にしている。発達障がいの子もいるが、子ども達は普通に接していて、我々大人のほうが学ばされることも多い。
- ・勉強を教えるのはハードルが高いと思う人が多いが、それぞれの得意分野を活かせば誰にでもできる。一度、見学に来ると、それから続けて来てくれる方が多い。
- ・外で子ども達に会った時に、名前を呼ばれたり、寺子屋先生と呼ばれると嬉しい。
- ・寺子屋は教えるのではなく、寄り添う場。一緒にいてあげて、話を聞くことが大事。
- ・体験活動も、子ども達が家でもやってみたいと思うこと、自分でやる気になることが大事だと思っている。
- ・小学校の寺子屋と比べて、中学校の寺子屋は人材の面で大変。本日、参加している大学の皆さんや教育委員会からも積極的な支援がほしい。
- ・今日のフォーラムは、「寺子屋」というものがあることを知ってもらえただけでも価値があったのでは。
- ・子どもに何をしてあげるわけでもないが、寄り添ってほしいだけの子もいる。そういう意味では、寺子屋は勉強だけにとどまらない価値がある。
- ・年配者がいつまでやれるか心配。保護者世代とかもっと若い人が加わってくると、子どもの普段の様子ももっとよく分かる。
- ・今回のフォーラムには学生さんがたくさん参加してくれて嬉しかった。今後も続けてほしい。
- ・日々の寺子屋の活動が楽しい。おじいちゃん、おばあちゃんと子ども達の距離が近い。
- ・校長先生がとても理解があり、地域に開かれているという学校の土壌がある。
- ・「寺子屋」というネーミングがすごくいいと思う。
- ・寺子屋には学校と地域をつなぐ大事な役目がある。
- ・寺子屋先生、スタッフのミーティングはすごく大切。



【体験活動の講師や企業、団体の意見】

- ・音楽関連の教材を作っている。音楽に関する体験活動なら何でもできるので、寺子屋に協力したい。
- ・企業も働き方改革が言われる中、現役サラリーマンが早く帰れるようになって、仕事帰りに寄れる場所が求められている。地域に戻って子ども達の勉強や体験をサポートするといった時間の使い方がある、ということが浸透していくといいと思う。
- ・体験活動の講師として寺子屋の活動をお手伝いしている。今後、寺子屋の運営にも関わってみたい。
- ・子ども達が興味関心を持って活動できることを最優先にしている。

- ・先日、寺子屋で初めて体験活動を実施した。学校でやるのは初めてだったが、保護者の期待と、コーディネーターの努力がすごいと思った。
- ・体験活動を実施するにあたって、コーディネーターと学校で綿密な打合せをしてくれたようだった。ゆくゆくは学校の授業でやりたい。

【市長、教育長を交えた意見交換】

(市長) 本市でもこの5年で10%も共働き率が増えており、子どもが親と接している時間が少なくなっている。一方で、地域には色々な人がいるのに、子どもとの接点がないのはもったいないという思いから、寺子屋を始めた。子ども達が地域の人とつながれる仕組みを作り直す取り組みが寺子屋。寺子屋が、世代を超えて交わる装置になっている。



地域の中でのつながりを求めていくと、教育だけではなく、福祉、防災など色々な分野へ派生していく。寺子屋を今やっている人たちのノウハウを広げて、お互いにパカれるところはパカってほしい。大人達が楽しそうに活動することが、子ども達も楽しくなる秘訣。

寺子屋を全校にとは言っているが、数値目標通りに無理矢理に進めようとする必要はないといつも言っている。地域の実情に応じて進めていけばいいし、子どもの受け入れについても、柔軟でいい。

(教育長) 教育プランでは、「自主・自立」「共生・協働」を基本目標に掲げている。日頃、接していない大人との交流の機会は、将来に向けた社会的自立に必要な能力や態度を養う上で大切。

地域の中の一員であるという意識を作るには、地域の大人たちとの接点が必要。



(大学生) 寺子屋の活動を初めて知った。勉強は教えられないが、空手を教えたい。

(中村委員) 寺子屋の活動に関わってくれる人を増やすには、どうしたらよいだろうか。

(寺子屋関係者) 人を増やすために、町内会の回覧板や掲示板も使える。

(大学生) 寺子屋を保護者に知ってもらうには、インターネットの活用が必要。ツイッター、FBなどSNSの活用を。学生が得意とするところなので、アイデアを出したり、サポートできると思う。

(市長) 寺子屋への参加はそんなにハードルが高くないことを、SNSで学生さん達に伝えていってはどうか。



(大学生) 教育学部ではないけれど寺子屋先生として協力している。楽しい。そういう学生もいることを伝えていくといいのでは。

(寺子屋関係者) 寺子屋の学習支援は「教える」のではなく「寄り添う」こと。「いるだけ支援」。誰でもできるから手伝ってほしい、とハードルをすごく低く宣伝している。

(中村委員) 上手に教えなければいけないわけではない。やる気が出るように寄り添うということ。

(大学生) 寺子屋の話を知った。地域と子どもがつながるには、地域と学校のつながりが大事。地域と学校のつながりが増えていけば、寺子屋への協力者も増えるのでは。

(教育長) 我々が子どもの頃は、地域の方が学校に来て教えるということはほとんどなかったような気がするが、「地域の中の学校」と言われるようになってこの10年、或いは20年、学校はすごく変わってきている。外部講師として地域の方が入ることも増えているし、学校から地域に発信することも増えている。学校報告会や学校教育推進会議を実施することもあるし、回覧板などで学校便りをご覧になることもあるのではない

だろうか。

(市長) 中学校になると子どもの姿が地域から見えなくなると言われた。

最初に当選をした時のマニフェストで寺子屋をつくることを約束したが、実際に始まってみたら、想定外の効果が出ていると感じている。「いるだけ支援」もその一つだと思う。子どもに寄り添ってくれる大人がいる、という寺子屋の役割。寺子屋の役割が広がってきたと思う。

(大学関係者) 学生が興味、関心を持つ情報が入手できれば参加すると思う。

その方法として、SNSの活用や、学生向けの寺子屋の説明会など開催してはどうだろうか？

(市長) 大学生は子ども達にとってモデルになる。

寺子屋同士、或いは寺子屋先生やスタッフが、子ども達のために、という考えのもと、お互いの持ち味を生かして、更なる高みを目指して、新たな価値を生み出してほしい。



アンケート結果

回収枚数 69枚

男性55.1% ・ 女性44.9%

10代4.3% ・ 20代21.7% ・ 30代2.9% ・ 40代14.5%

50代15.9% ・ 60代30.4% ・ 70代以上10.1%

(問) これまで寺子屋事業に関わる事業に参加されたことはありますか

1. 寺子屋先生、コーディネーターをしている 52.2%
2. 寺子屋先生養成講座に参加したことがある 5.8%
3. 市民館等で開催される寺子屋に関する学習会に参加したことがある 1.5%
4. はじめて参加した 33.3%

① 今回のフォーラムにどの程度満足されましたか	1. 満足 59.4% 2. どちらかという満足 26.1% 3. どちらかという不満 1.5% 4. 不満 0%
② フォーラムに参加して、新たな気付きはありましたか	1. あった 68.1% 2. どちらかという、あった 18.9% 3. どちらかという、なかった 1.5% 4. なかった 0%
③ 今回のフォーラムは、子どもや地域のことを考えるきっかけとなりましたか	1. なった 68.1% 2. どちらかという、なった 15.9% 3. どちらかという、ならなかった 1.5% 4. ならなかった 1.5%
④ 今回のフォーラムで、寺子屋事業のことが分かりましたか	1. よく分かった 70% 2. どちらかという、分かった 14.5% 3. どちらかという、分からなかった 1.5% 4. 分からなかった 0%

<p>⑤ 寺子屋の活動に関心を持ちましたか</p>	<p>1. 関心を持ち、今後参加してみたい 39.1% 2. 関心は持った 7.2% 3. 関心を持たなかった 0% 4. 今までも参加している 40.6%</p>
-------------------------------	--

(参加者の感想)

- ・ 学生さんが参加した討議は、フレッシュな考えが聞けて、大変良かったと思っています。これが、世代間交流そのもの、と思います。
- ・ 学生の参画が多く、頼もしく感じた。
- ・ 横のつながりが広がる、このような機会は良かった。
- ・ 他の寺子屋の活動を知ることができ、今後の活動に活かしたい。(①お楽しみ会で工夫した問題と、多学年でゲームとしてやることなど ②教えるというだけでなく、寄り添うということ ③先生の持ち味を活かし合うこと)
- ・ 各地の寺子屋が、それぞれ個性を持って特色を活かした工夫をして、活発に活動していることを知ることができ、刺激になった。
- ・ 時間をかけて情報を共有しながら、この事業をゆっくり育てていってほしい。
- ・ 子ども達にとって「寺子屋に来て楽しかった」と笑顔で帰ってもらえる寺子屋先生を目指したいと感じました。子ども達に寄り添い、話を聴くだけで幸せを感じてもらう「居るだけ支援」を心掛けたいと感じました。
- ・ 第1部の親子体験教室の取組内容を見学して、とても参考になりました。
- ・ 子どもの自主的な学びを見守る、寄り添う、応援するという役割を改めて確認しました。
- ・ 保護者、地域への広報活動の必要性ということについて、改めて考えた。
- ・ 様々な立場の方々と話ができてよかった。
- ・ 南部と北部では放課後の学習支援のあり方に少し違いがある。勉強と遊びのほか、息抜きできる場と考えている子どももいたりする。寺子屋ではなく、夢パークのような、いつでも行ける子どもの逃げ道となる施設が南部にもほしい。
- ・ 地域をあげて、子ども達の育成＝人材育成の礎を築くうえで、とても大事なことであるのを再認識する良い機会となった。
- ・ 子どもの世界は大人の世界の鏡。つながりを持たせるには、まず大人のつながりの見通しも大切と感じた。
- ・ 寺子屋を実施するにあたり、これから具体的なタイミングの時に相談にのっていただきたい。
- ・ 皆様の活動を伺えて、大変良かったです。
- ・ 学生、社会人、寺子屋関係者など様々な人の意見が聞けて良かった。
- ・ 寺子屋事業が学校教育の補助をしていくという考えがあるとすれば、それはおかしいと思う。教育は根本的に学校に任せるべきで、寺子屋は放課後の面倒を見たり、世代の違う人たちのキャリアを話したり、校外学習を重視した制度にすべきだと考えています。
- ・ グループに分かれて話し合ったことが良かったです (特に若い人の話が聞けて)。
- ・ グループで話し合う時間が少ないと思う。
- ・ 寺子屋間での意見交換は有益。共通課題を抱えているところ、成功事例として取り上げられているところなどを集めて、少人数で議論できる場を作ってもらいたい。
- ・ 寺子屋の立ち上げに向けてサポートしてほしい。
- ・ 大学生の関与の仕方を知りたい。他の寺子屋の活用事例を教えてほしい。授業のあいているコマに参加とのことだが、近くに大学がない地域は？自宅が近くなら可能か？看護短大などは？

- ・大変勉強になりました。中野島小、大戸小両校の事例紹介の中に「子ども達の自己肯定感、達成感を醸成する」という目的、成果があげられていました。我々も同じ目的を持って各種事業を行っております。今後、ぜひお手伝いさせていただければと、改めて強く感じました。
- ・大学生の中に、子ども達に関わることに興味を持っている人はたくさんいると思います。その中でも、小学校の卒業生や、近所の大学生など、近いところから普及させていくのがよいと思います。
- ・今日のフォーラムを通して、寺子屋についていろいろ勉強ができました。これからも出来る限り寺子屋について携わって行きたいです。
- ・とても素晴らしいフォーラムでした。また、色々なイベントや活動を続けてください。
- ・勉強を教えることもそうだが、勉強をしたいという意欲を育むという考え方を知り、新たな考え方を学ぶことができた。
- ・活気的な交流の場になりました。ありがとうございました。
- ・皆さんの色々と参考になるご意見を聞かせていただきました。まず大人が笑顔でいることが大事だと思いました。
- ・本日のフォーラムに学生がたくさん参加して下さったことは、大変喜ばしいことだと思います。川崎市が全校に寺子屋を推進するためには、地域のシニアだけではなく、学生が関わりを持てるような工夫をしていくことが大切だと思いました。
- ・多くの方々が関わっておられるのも「子どもは宝」ということがあるのだなと思いました。
- ・寺子屋先生を、色々な区をこえて集められたらいいなと思いました。先生が充実している寺子屋からも派遣できるといいですね。
- ・地域の方々ともふれあえることを、保護者にもっとアピールしてほしい。
- ・土曜の体験活動だけではなくて、放課後の学習支援のお楽しみ学習の一つとして、我々のプログラムを寺子屋先生と子ども達に受けていただき、交流の場にしてもらうこともできると感じました。
- ・市長、教育長、そして寺子屋で先生をされている方々、PTAの方々の生の声をお伺いすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回のフォーラムで学んだこと、感じたことを、これからにつなげていきたいです。
- ・体験活動の講師をしていますが、寺子屋はとてもよい仕組みで成り立っていると思います。自分も地域にできることが考えられるなと思います。
- ・今回、初めての参加でした。寺子屋という名前は、最初、頭が良い人しか参加できないと思っていましたが、自分ができることをやるということを知られました。学校や地域の取組に、これからも積極的に参加したいと思います。
- ・大学生のご意見がとても良かったです。ぜひ寺子屋に参加していただきたいと思います。
- ・寺子屋へ参加するハードル（勉強なんて教えられない…）についての話、参考になりました。もっと気軽に多くの人に参加してくれるとよいのですが。学生さんのSNSによる発信には、大いに期待したいと思います。
- ・学生さんの発言、新たな提案が素晴らしかった。関心ある人の力を結集できる、もっと素晴らしい寺子屋になると思った。
- ・大学生の参加はとても良かったと思います。今後も継続していただきたい！大学へもっとアピールしましょう！
- ・かわいい寺ッコを、ゆるキャラグランプリに出場させてください。→まずは着ぐるみをつくる→ゆるキャラグランプリで優勝する→寺子屋をPR→寺子屋先生が増えるかも！文部科学大臣表彰を受賞したのに、PRが少ないように思う！
- ・各寺子屋の話聞けば聞くほど迷っています。来春から寺子屋を開講する予定ですが、学習のサポートとお

楽しみの割合が分からない。小学校低学年での算数のつまずきが、将来、大きな問題になっている現実から、基礎学習をしっかりサポートしたいと思っています。

- ・放課後の学習教室は週1ですが、もっと学習の機会を与えられたらなど良いと思います。現在やっている寺子屋で、拡大していくチャンスがあるとよいなと思います。
- ・若い人たちの声が活発に出たことは、今後に期待が持てる。今回のような交流の場で、人がつながっているとよいと思う。
- ・寺子屋の活動に参加したい大学生が多くいることに驚きました。養成講座やPR方法を大学生向けに工夫して、寺子屋先生となる大学生が増えるといいなと思いました。
- ・子どもの成長について考えている大人がたくさんいて、安心しました。素晴らしい取組がある地域に住めてラッキーです。専業主婦や育休中のママさんなど、コーディネーターやスタッフになってもらうよう働きかけてみてはいかがでしょうか。潜在している温かい人材がたくさんいると思います。
- ・普段、活動に参加しているだけでは気づかないようなことも多いのですが、違う寺子屋の方々のお話を聞くことができ、自分自身、よい経験になりました。自分は学生ですが、他の学生がたくさん発言していたのを見て、もう少し自分も様々なことを頑張っていこうと思いました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
- ・学生さんの立場から、寺子屋先生の立場から、市からの思いなどたくさん聞いて良かったと思います。地域の方々に、もっと参加してほしいと思いました。
- ・よい会でした。
- ・若者の参加を促すために、もっと広く寺子屋の活動が知られればよいと思いました。SNSの活用も有効だと思います。この素晴らしい活動は色々な人に知ってほしい。
- ・本日は充実した時間をありがとうございました。自分にできることを活かしながら、少しでも関わられたら、と思っております。
- ・4月から中学校の教員として働かせていただきます。寺子屋先生としても現在お手伝いさせていただいています。普段の寺子屋を通して、すごく魅力的な活動だと感じています。もっと私たちの世代の人に、この寺子屋を知ってもらいたいと思いますし、保護者の方にも知ってもらいたいと思います。そのためには、学校と地域の連携が大切だと思いました。学校側が寺子屋に協力できることが何かあるのではないかと感じました。本日は貴重な経験を、ありがとうございました。
- ・寺子屋の関係者だけではなく、寺子屋に関心のある方々も交えてディスカッションできたのが、よい刺激になりました。週1回、隔週では少ないのでは？と現場は思いますが、回数を増やすのはなかなか難しいですね。もっとハードルを低くしていきたいです。
- ・他の寺子屋の様子も分かり、大変参考になりました。学生の参加がもっと進んでいくとよいと感じました。
- ・色々な取組をされています。素晴らしいことだと思います。寺子屋先生養成講座を受けて、現在、寺子屋先生として活動しています。寺子屋に来ているお子さんの妹さんが、来年から寺子屋の対象学年になるのを、とても楽しみにしてくれています。「寺子屋」分かりやすくよいネーミングだと思います。毎年、フォーラムを開いてくださって、ありがとうございます。
- ・またぜひ参加させていただきたいと思いました。大変勉強になりました。
- ・いろいろな方とお目にかかれてよかったと思いました。もう少し時間を長くとっていただきたいと思いました。私は他都市の者ですが、寺子屋先生養成講座を受講させていただきました。講座のほか、実際に現場での実習もあり、参考になりました。この活動を知るきっかけは新聞でしたので、これからもオープンに、他の地域の者にもお知らせいただけましたらと思います。
- ・寺子屋の全体の情報を知る機会ですが、交流の時間が足りず残念でした。
- ・学生と寺子屋先生両方の立場から、寺子屋について考えることができた。学生の寺子屋先生が不足している

ことを知ることができたので、自分が他の学生に寺子屋先生を薦めていきたい。

- 寺子屋というのがどんなものなのか、フォーラムに参加してよく分かった。こんなにも多くの方が寺子屋について熱心になって考えているのには、とても感心させられました。
- いつもは個々に活動している各地域の寺子屋が、こうして一つに集まって話をすると、他の良さが分かり、自分の寺子屋に活かしていけるなと感じた会でした。
- 私は現在、大学4年生です。私たちがアルバイトをする際に重要視しているのは、時給や立地条件もありますが、人間関係が一番気にする点です。寺子屋に関わる人たちの仲の良さを発信できれば、より集まりやすいのではないかと思います。
- 新たな気づきが多く生まれたフォーラムでした。またこういったフォーラムがあれば、積極的に参加したいと思います。
- 幅広い年代の方と話す機会になり、とても学び、気づきのあるものだった。参加した方がみな、寺子屋についてよく考えており、様々持ち帰れるものがありました。

フォーラム実施に向けて多くの方のご協力とご尽力をいただき、
また、たくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

